

いのちを見つめる 強調月間

毎年
6月

目的

「心の教育」の充実が叫ばれる中、本市における事件により、改めて「いのち」の重みを心から感じ取り、思いやり深く人と関わることのできる心豊かな児童・生徒の育成が必要となった。

具体的な取り組みとして、学校・家庭・地域が連携して授業参観や子どもたちとの交流体験活動、「いのちの集会」等による語り合いの場などを通して、地域の子どもたちを地域の大人が見つめ、ふれあうことで豊かな心の構築を目指す。

最重要課題

- ①心の教育のさらなる充実を図る
- ②コミュニケーション能力の向上を図る
- ③子どもの居場所づくりを図る
- ④学校と家庭、関係機関との連携・協働を図る



吉井地区では、吉井中、吉井南・北小とが連携し、6月1日の「いのちを見つめる日」に合わせて、講演会などを実施し、いのちの大切さについて考える機会をつくっている。